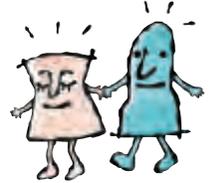


THE ライフスポーツ RIFLE SPORTS

2022 **6**
第457号



- 第77回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体) 報告・総合成績
- 世界選手権 2022 カイロ大会報告
- TOKYO 2020 メモリアル JAPAN CUP / JOC カップ
- 第35回全日本パラスポーツ選手権大会 / 全日本学生スポーツ射撃選手権大会



スポーツくらぶ

toto
FOR ALL SPORTS OF JAPAN

BIG

ライフルスポーツ

巻頭言

普及・生涯スポーツ委員会委員長 永谷喜一郎

普及・生涯スポーツ委員会の事業の1つとして「チームライフル・チームピストルスポーツ射撃体験会」を日本オリンピックミュージアムで実施しています。射撃競技が老若男女・障がいの有無を問わず同じように楽しめるスポーツであることをアピールし、射撃を始めるきっかけに繋がりたいという思いで活動しています。これまで6月・9月・10月と体験会を実施し、毎回参加者の方々からは好評をいただいております。運営側も各回の反省を踏まえて次回の改善に繋げ、より良いものを作っていこうと尽力しています。

今後注力すべき点として、体験会に来ていただいた方をいかにして次のステップに繋げていくか、があります。体験会は40分枠を7回転分実施しておりますが、前後の開閉会の時間を除くと正味30分くらいしか射撃の体験ができません。10月30日の体験会に参加された方々から、もっと練習したいがどこに行けば練習ができるか、射撃部のある中学校はあるか、小学生の大会はあるかなど、様々な質問がありました。興味を持ってくださった方、射撃をやりたいという方の意欲に素早くお応えできるように、近県（いずれは全国）の射撃場情報や射撃教室、学校の部活動としての射撃の様子など、様々な情報を発信できるように各委員会や各県ラの皆様と情報の精査・連携をしながら進めていきたいと思っております。

今後も各委員会や各県ラの皆様にはご協力いただくことがあるかと思っておりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



今月の表紙
3年ぶりの国体開催となった第77回国民体育大会（いちご一会とちぎ国体）。ライフル射撃競技で男女総合優勝を飾った埼玉県チーム。

目次

いちご一会とちぎ国体を終えて……………	2
栃木国体総合成績……………	5
世界選手権2022カイロ大会を終えて……………	6
TOKYO 2020メモリアル JAPAN CUP……………	8
2022年度 JOC ジュニアオリンピックカップ 兼 第33回 ISSF ジュニアライフル射撃競技選 手権大会……………	11
第35回全日本パラスポーツライフル射撃競技選 手権大会……………	13
「全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第69回男子総合 / 第35回女子総合」（能勢） ……………	15

いちご一会とちぎ国体を終えて

栃木県ライフルスポーツ射撃協会 会長 谷津義男

令和4年10月6日から開催されたいちご一会とちぎ国体ライフル射撃競技は同月9日、無事終了いたしました。関係者の皆様には、厚く御礼申し上げます。

この国体は、振り返ってみますと、様々な意味で初めて尽くしでした。

まず、新型コロナウイルスにより、鹿児島本国体の延期、三重国体のリハーサル大会・本大会の中止、そしてとちぎ国体リハーサル大会の中止を経て、3年ぶりに開催された大会でした。いわばぶっつけ本番という状況下で開催せざるを得ず、大きな不安を抱えて開催を迎えたわけです。これほど、準備にかける時間がなかった大会もないのではないかと思います。

また、東京オリンピック後にISSF（国際射撃連盟）によりルールの変更があり、Mix競技が国体においても新たに採用されました。このような新ルールの導入がある中、日ラ国体委員長が任期満了により新たな委員長が選任され、開催市の委員会、Jスポとの調整も再三変更が生じる



谷津栃ラ会長からの歓迎のこぼ



大会会長トロフィーを持つ埼玉県、藤井監督



競技運営責任者会議。総合成績・RTS分科会



BR・BP会場

など、右往左往する毎日でした。ただ、リハーサル大会を開催できなかったにもかかわらず、本大会を無事、終えることができたのは、新たな国体委員長のご尽力があってのことであることは言うまでもありません。

加えて、とちぎ国体に向けてリニューアルオープンした県射撃場に導入された最新型電子標的の動作不良等が発生するという事態が発生しました。検証射撃会を数度実施いたしましたが、不安要素が解消しないままでした。そんな状況を見かねてか、松丸会長、関東ブロックの役員らが多大なバックアップをして下さり、SIUSの技術者がわざわざ韓国から来てくれ、本社からのリモートコントロールによりすべてのチェックが完了し、国体においては問題のない状態にすることができました。

必ずしも準備万端と言える状態での開催ではありませんでしたが、関係者皆様のご尽力により、新型コロナウイルス感染者を出すことなく、また、大きな事故もなく、「国民体育大会」という名称での最後の開催を無事終えることができました。日本記録も生まれ、地元の餃子会から100人分の餃子が副賞として贈呈され、表彰式が沸いたのも今大会での喜ばしい出来事でした。

最後に、全国各地より参加された選手監督関係者の皆様に御礼申し上げますとともに、様々な面でご協力をいただきました日ラ関係者の皆様に重ねて御礼申し上げます。

以上



AR60表彰式。左から2位 岡田選手（岡山）、
優勝 松本選手（埼玉）、3位 遠藤選手（岐阜）



R3P表彰式。左から2位 平田選手（石川）、
優勝 川原選手（埼玉）、3位 新里選手（鹿児島）



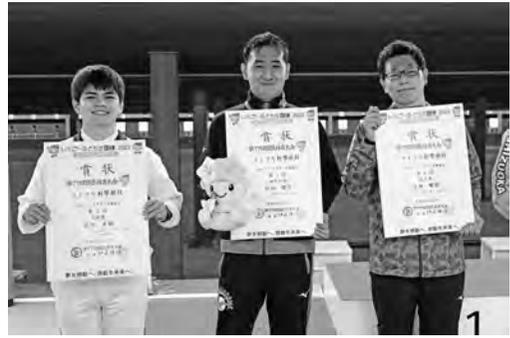
AR60J 決勝



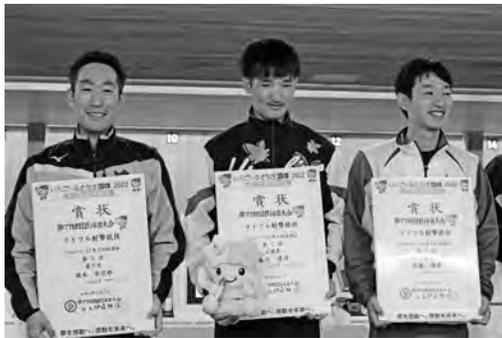
決勝を見守る選手団・観客



AR60J 入賞者



FR3P 表彰式。左から2位 花川選手（大阪）、
優勝 信田選手（神奈川）、3位 小林選手（栃木）



AP60表彰式。左から2位 堀水選手（香川）、
優勝 森川選手（広島）、3位 佐藤選手（千葉）



栃木国体より行われた ARMix、BRMixJ。
ARMix 優勝の埼玉県（松本選手・清水選手）



AP60W 入賞者



日本新記録で AR60PRW 優勝の清水綾乃選手（埼玉県）。
副賞として地元の餃子会から100人前の餃子が贈呈。



表彰式プレゼンター。前列左から平井国体委員長、松丸会長。
栃木国体では各会場で種目別表彰式が行われた。



感謝状贈呈。左から宇都宮市実行委員会、松丸会長、
真岡北稜高校。25m会場では作新学院高校、宇都宮商業高校、
栃木県警察学校に贈呈。

栃木国体総合成績

女子総合成績（皇后杯）

順位	都道府県名	総合得点
1位	埼玉県	61点
2位	徳島県	44点
3位	岐阜県	33点
4位	大分県	30点
5位	千葉県	28点
6位	鹿児島県	25点
7位	東京都	22点
8位	石川県	21点



男女総合成績（天皇杯）

順位	都道府県名	総合得点
1位	埼玉県	119点
2位	徳島県	61点
3位	岐阜県	55点
3位	佐賀県	55点
5位	千葉県	52点
6位	大分県	49点
7位	滋賀県	45点
8位	東京都	41点



世界選手権2022カイロ大会を終えて

いよいよ2024パリオリンピックへの戦いがいよいよ始まった。

東京では、ホストカントリーとして全ての種目に出場ができたが、パリオリンピックではQP(国別オリンピック出場権)を獲得しなければオリンピックへの出場はあり得ない。

本大会には日本選手団(ライフル9名、ピストル10名、チームスタッフ5名)として10m先発組と25m・50mの後発組の2つに分かれて参加することとなった。

射撃場は、首都カイロ市から車で1時間ほどにある総合競技場で、周りは砂漠というほどではないが、建物もないだらっ広い砂地の真ん中にポツンとそびえ立ち、当然何かを買うお店(コンビニみたいなもの?)などない。

お水は、ホテルのベットメイキングの際1日2本500mlのペットボトルが補充され、我々はこのお水を頼りに生活していた。

今年2月に今回と同じところでワールドカップカイロ大会が開催されており、その時選手の半数以上に下痢等の体調不良者が出たことで、今回はかなり準備・対策をして臨んだが、今回もかなりの選手に同じ症状があり、中には発熱を伴うものもいた。

何も変化がなかった佐橋強化委員長と松田、数少ない選手は影の勝者であり、どの国でも生き抜いていける強い胃腸を手に入れたと言える。

食事は、ホテルのレストラン以外は日本からの補食、お水はペットボトル以外厳禁、数日前から整腸剤を服用し、歯磨き後もペットボトルのお水で口をゆすぎ、シャワーでは息を止めて口に入る水を防ぎ…考えられる対策を各選手が積極的に実施しているが、体調不良により実力を発揮できなかったのであれば、悔しさが残る。

射撃場は、1つの建物に50m射場、25m射場、10m射場に分かれ、初めて行った際には必ず迷子になるほど大きい施設で、今年2月のワールドカップに来ていない選手は、まず射撃場ツアーから実施して、ホテルから射撃場までの位置及び各射撃場出入口の確認、さらに後々とても必要なトイレの場所の確認(腹痛による緊急運行を行う際、場所がわからないと大変なことになります)。笑

射撃場ツアーをしても、次の日選手は迷子になっていました。

それでは、前置きが長くなりましたが大会の様子をご報告します。

まず、50mはエジプトの風が時間帯によって変わるのが特徴で、試合途中でも風向き



エジプト大使公邸にて 岡特命全権大使と



集合写真(前半組)



集合写真(後半組)



ウーヨンコーチとAPWTEAMの3名



エミールコーチと武内響選手



ゴランコーチと50m 3×20W TEAM



ゴランコーチと岡田選手

が異なり、PET と試合本番の時間も異なり、事前でのコーチとの調整と変わってしまい、変化に対応できず結果を落とす形となった。

そんな中、世界の強豪は凄まじく、男子本戦 TOP スコアは596点と訳もわからないハイスコアで、584点の花川選手が日本人最高の43位、女子も同じく世界の壁は高く、ファイナルボーダーが587点で、580点の平田選手は42位であった。

25m は、風以上に時間により、標的の明るさが異なり、少しでも太陽がかげると暗さにより標的が見づらく、選手は苦戦していた。

前回の W 杯韓国大会で優勝した吉岡選手は、前半294点の高得点で6位につけるも、後半、隣の選手のマルファンクション(弾詰まり)による再射の際の号令がバタバタでペースを乱され、その後痛恨のタイムオーバーにより決勝進出を逃し、日本人最高は若手の武内選手の31位であった。

女子は、佐々木選手が善戦するも28位となり、ピストルもまた世界との壁を感じさせられた結果となった。

10m は、特に撃ちづらさは感じられなかったが、ライフル・ピストともに決勝進出はならず、今季初参加の中国勢が上位を占め、中でもピストル女子では中国選手とセルビア選手2人が590点台をマークするなど、ハイレベルな点数で、ライフル岡田選手の22位が最高順位であった。

結果として、全ての種目でQP 獲得には至らず、チームでの入賞にとどまり、成果を上げることは出来なかった。

しかしながら、若手選手が加わる中でチーム JAPAN の意識はとて高く、種目別に分かれている各コーチに指示を受け、事前に試合への取り組み方や戦略を立てて臨むなど、成長を十分に感じ、今後の試合では必ず結果を出してくれる期待している。

また点数的には、まだまだ世界との壁は感じるものの、チーム JAPAN としての力は互角以上であり、今後の合宿や大会を経て、必ずやQP 及びメダルを獲得することを信じている。

最後に、今回の大会に際し、応援をしてくださった皆様には派遣メンバーを代表して、厚く感謝申し上げます。

必ず強いチーム JAPAN をお見せいたしますので、これからも応援よろしくお願ひします。

ピストル部長 松田 知幸



相澤ひかる選手 (APW)



岩佐正貴選手 (AP)



岡田直也選手 (AR)



佐々木千鶴選手 (SP)



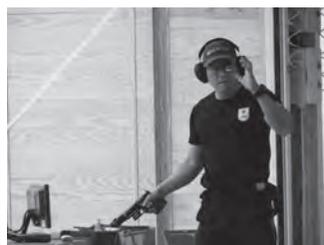
武内響選手 (RFP)



花川直樹選手 ニーリング



ARMIX 平田しおり選手と岡田直也選手



吉岡大選手 (RFP)

TOKYO 2020メモリアル JAPAN CUP

TOKYO 2020メモリアル JAPAN CUP が朝霞市総合体育館で開催されました。

昨年の夏、TOKYO 2020オリンピック・パラリンピックが陸上自衛隊朝霞訓練場のASR (Asaka Shooting Range) で行われました。

このメモリアル大会は少しでも多くの方に、この朝霞の地で、オリンピック・パラリンピックの有形、無形のレガシーとして、記憶にとどめていくためイベントとして開催に至りました。

競技はビームライフル、ビームピストルの個人種目に加え、2人で撃つMIX種目、3人で撃つTeam種目を行い、全国より中学生からオリンピックまで多くの選手に参加していただき、大いに盛り上がる大会となりました。

また競技役員には実際にファイナル会場、本戦会場でCRO (射場長) を務めた藤井さん、岡田さんがこの大会もCRO務めてくださり、本物のコールの中で競技を行なっていただきました。

その他、大会運営には組織委員会、ITO/NTO (競技役員)、ボランティアに参加された多くの方に当時のユニフォームを着用して運営にあたっていただきました。

大会会期中、別会場のサブアリーナでは、オリンピック・パラリンピック関連の展示やスポーツ射撃コーナーでは朝霞市が募集した市民の方が射撃体験を行なっていただきこちらも大いに盛り上がるイベントとなりました。

会場には多くのオリンピックにお越しいただき、参加した選手たちや会場にお越しいただいた市民の方との交流ができました。

大会の開催にあたっては富岡朝霞市長はじめ、朝霞市の方達の支援があって実現が可能になりました。

TOKYO 2020メモリアル大会にご参加いただいた選手はじめ帯同いただいた保護者の方、準備、運営に力をかしていただいた多くの方に感謝申し上げます。

来年以降も、この大会を夏のメモリアルイベントとして、開催していきたいと願っています。

埼玉県ライフル射撃協会 田中僚一郎

TOKYO 2020オリンピックのメモリアル大会が開催されました。

試合当日はオリンピックの方も参加されており、一般選手の中にはオリンピックの方へ射撃の質問をする人が多数見受けられました。また今大会で使用されたゼッケンや射座番号は実際にオリンピックで使用されたものと同じで、あたかもオリンピック会場で試合をしているかのような気分を味わえる喜びに参加した選手は皆目を輝かせておりました。

何名かの高校生は、実際にオリンピック競技役員をされた方のアドバイスをもとに射場長の体験をしており、未来の発掘にも繋がったのではないのでしょうか。

年齢を超えた様々な選手が交流したり写真会が行われたりと普段は体験できない貴重な時間を過ごすことが出来たと思います。今大会を終え、オリンピックを懐かしく感じると共にオリンピック・オリンピックが与える影響力の偉大さを改めて感じました。

明治大学射撃部 渡部奏乃音





2022年度 JOC ジュニアオリンピックカップ 兼 第33回 ISSF ジュニアライフル射撃競技選手権大会

2022（令和4）年9月9日～11日 埼玉県長瀨射撃場

2022年9月9日から11日にかけて、JOC ジュニアオリンピックカップが3年ぶりに埼玉県長瀨射撃場で開催されました。2年前、新型コロナウイルス感染拡大を理由に、高校総体の中止が発表され、当たり前だと思っていた高校スポーツの風景が失われました。そして全国大会から繋がるこのJOC ジュニアオリンピックカップも昨年度まではリモート開催となり、こうしてまた開催される喜びを感じております。

JOCが2021年10月に「TEAM JAPAN」ブランドを発表し、エンブレムデザインが変更されました。「TEAM JAPAN」の頭文字であるTとJをかたどり、レッドとゴールドの2色のフレームで構成され、レッドはアスリートやサポーターらの情熱、ゴールドは「TEAM JAPAN」が人々を輝かせ、未来を照らす“光”となっていきたいと願う思いが込められています。今大会の賞状にも、「TEAM JAPAN」のエンブレムと、日本ライフル射撃協会のエンブレム、また会長名が併記されております。この価値ある大会で、日本新記録が2つ出たハイレベルな大会となりました。

【ピストル種目】

初日に行われたAP60Jでは、小柳勇生選手（福岡県協会）がファイナル得点240.0点を撃ちジュニア日本新記録で優勝、2位には本選565点で本選トップの高校2年生内田翼選手（長崎北高校）、3位には杉本創一郎選手（太宰府高校）が入賞しました。AP60WJでは、山田実花選手（同志社大学）が優勝、2位には武市愛理選手（仙台育英高校）、3位には東晴七選手（宇和島南中東教育学校）が入賞しました。

BP60Jでは、福永涼介選手（国際学院高校）が優勝、2位には森田馨介選手（取手第一高校）、3位には竹村孔志選手（由布高校）が入賞しました。BP60WJでは、石井天菜選手（飛鳥未来高校）が優勝、2位には昨年度優勝者の山崎一葉選手（高知高校）、3位には三浦寿花選手（城南中学校）が入賞しました。



【エアライフル種目】

AR60Jでは、昨年度BRで優勝している吉田陸矢選手（中央大学）が優勝、2位には

鈴木航太選手（明治大学）、3位には昨年度優勝者の関口慈英選手（明治大学）が入賞し、大学生の活躍が目立ちました。AR60WJでは、野畑美咲選手（明治大学）が堂々の3連覇、2位には本選625.7点で本選トップの高校2年生泰地陽詩選手（城南高校）、3位には山田咲来選手（成立学園高校）が入賞し、高校生が活躍しました。また、オープン参加ではありましたが、2位に入賞した泰地選手はBRで636.1点を撃っており、今後の活躍が期待されます。



【ビームライフル種目】

BR60Jでは、戸田陽翔選手（小松島高校）が優勝、2位には関海唯斗選手（鬼怒商業高校）、3位には村上隆人選手（西武文理高校）が入賞しました。BR60WJでは、山崎わかな選手（水口高校）がファイナル得点253.7点を撃ちジュニア日本新記録で優勝、2位には全国大会優勝者の長坂夢選手（阿南光高校）、3位には森保詩乃選手（小江原中学校）が入賞しました。



3日間にわたり熱戦が繰り広げられ、中学生の活躍も目立ちました。現在、トップアスリートの発掘・育成事業が各都道府県で行われております。世界的にはジュニア選手の活躍が顕著であり、オリンピックや国際大会に向けて、ジュニアの育成・強化が必要不可欠です。今後もジュニア育成・強化を行い、世界で活躍できる選手がこのJOCオリンピックカップから誕生することを願っております。最後に、埼玉県ライフル射撃協会の皆様、大会役員の皆様、埼玉県高校射撃部の皆様、今大会開催にあたりご尽力いただきありがとうございました。心より御礼申し上げます。

埼玉県ライフル射撃協会 角谷理沙（国際学院高校）

第35回全日本パラスポーツライフル射撃競技選手権大会

実施日 2022年9月18日（日）～19日（月）

会場 静岡県瀬戸谷屋内競技場「スポーツ・パル高根の郷」

6年ぶり2回目の静岡県開催

台風14号の接近する中、パラ射撃の日本チャンピオンを決める全日本選手権が静岡県藤枝市のスポーツ・パル高根の郷で開催された。昨年度も当初スポーツ・パル高根の郷での開催が計画されていたところ、新型コロナウイルスの影響により、急遽高知県の春野総合運動公園射撃場に会場を変更した。今年度はいよいよスポーツ・パルでの開催が実現した。静岡県の開催お引き受けは、2016年度の第29回以来、6年ぶり2回目のことであった。

また今年度より、大会名を「全日本障害者ライフル射撃競技選手権大会」から「全日本パラスポーツライフル射撃競技選手権大会」に変更した。

大会運営

大会には北海道から沖縄までの全国各地から35名の選手が参加した。パラリンピック種目は10m種目が6種目、50m種目が2種目の計8種目が実施された。ビーム種目は、ビームライフルが3種目、ビームピストルが1種目の計4種目を実施した。

大会運営では、用具検査でSH2スタンドの柔軟性などのWSPS（国際パラ射撃連盟）の諸検査項目を実施した。初めて実施した昨年にも続くものである。ファイナルは、エアライフル伏射混合SH1クラスと同SH2クラスの2種目で実施した。

新型コロナウイルスの感染予防対策として、参加者には大会14日前からの検温および行動記録を記入した健康チェックシートを提出していただいた。



エアライフル伏射 SH1ファイナル

クラス分け相談室の設置

射撃に限らず、パラスポーツではクラス分けが行われる。そのスポーツのパフォーマンスに係る機能によって、選手にはそれぞれ該当するクラスが割り当てられる。クラス分けは、パラスポーツで競技の公平性を担保するために欠かせないものである。今大会では、会場内にクラシファイア（クラス分け判定員）によるクラス分け相談室が初めて設けられた。新たに競技に参加しようとする4名の相談者があり、おのこのクラシファイアからアドバイスを受けた。



エアライフル伏射 SH2



集合写真



50m ライフル3×20



ビームライフル自由姿勢



ビームライフル肘射

競技結果

エアライフル伏射混合 SH1クラス (R3) では、佐々木大輔選手が252.7点のファイナル日本記録を樹立して優勝した。

エアライフル伏射混合 SH2クラス (R5) は、水田光夏選手がファイナル253.2点で2位の鈴木努選手を引き離して、3連覇を果たした。水田選手は、今年のシャトルルーWC(フランス)で8位に入賞した。国際大会での入賞は日本選手としては実に2014年ワールドカップ・ストークマンデビル大会(イギリス)で瀬賀亜希子選手が同種目6位に入賞して以来8年ぶりであった。水田選手は8月に出場したチャンウォンWC(韓国)でも5位に入賞した。

エアライフル立射男子 SH1クラス (R1) は望月貴裕選手、エアライフル立射混合 SH2クラス (R4) は木下裕季子選手が優勝した。

エアピストル男子 SH1クラス (P1) では、育成選手の齋藤康弘選手が後半の射撃で粘りを見せ、嬉しい本大会初優勝を果たした。今後の活躍に期待したい。エアピストル女子 SH1クラス (P2) では、ライフルからピストルに転向して本大会初出場となった武樋いづみ選手が優勝した。久しぶりの女子エアピストル選手の登場である。

50m ライフル伏射 SH1クラス (R6) では、岡田和也選手が613.5点の障害者インドア新記録で2連覇した。岡田選手は先にスポーツ・パルで行われた強化指定選考会で強化指定Bとなっている。さらなるスコアアップを期待したい。50m ライフル3×20SH1クラス (R7をハーフで実施) には、望月貴裕選手と大滝健太郎選手の2名がエントリーし、望月選手が553点で優勝した。

ビーム種目では、自由姿勢40発では、大阪稲の宮城悠那選手が日本新記録・大会新記録となる427.4点を撃ち、チームメイトの東宏選手を抑え、二連覇を果たした。ビームライフル肘射 SH1クラスは東宏選手が優勝した。肘射 SH1クラスは埼玉県の増田真美子選手が優勝した。

ビームピストル SH1クラスでは、鈴木努選手と長谷部信夫選手が、まだ伸びしろは大きいものの日本新記録および大会新記録を更新した。

課題

今回大会にはメディア取材がなかった。東京大会後のパラスポーツへのメディアの関心の低下を示すもので、大会開催地の地元メディアにしっかり働きかけるなどのこまやかな広報戦略を考えないといけないと感じた。

謝辞

静岡県ライフル射撃協会の皆様には、周到なご準備と丁寧な大会運営により素晴らしい競技環境をご提供いただきました。この場をお借りして心から感謝の意を表します。

日障射連公式 Twitter https://twitter.com/official_jpsf

日本障害者スポーツ射撃連盟常務理事 田中辰美

「全日本学生スポーツ射撃選手権大会 第69回男子総合 / 第35回女子総合」 (能勢)

「少し違っている」

それが、全日本学生選手権（通称インカレ）の最終日の射撃場の雰囲気だった。

毎年見慣れた風景が、何かいつもとは少し違う。4年生にとっては、インカレが終わると、ほとんどの大学が代替わりとなる。だから最終日は全国から集まった学生が記念撮影しながら笑顔や時には涙を浮かべる光景が見られる。

同じようにあちらこちらで、記念撮影されているが、何かが違うそんな印象を持った。

コロナ禍でこの2年間、7月の学生選抜は中止を余儀なくされ、インカレは何とか分散開催でつないできた。そしてようやく今年、両大会共に集合で開催することができた。

分散開催で行われたインカレは、各支部の拠点射撃場で同日に開催して記録を集計する試合で、他支部との交流は難しく、全国大会の目的でもある、他支部との交流は全くできなかった。

大会を運営するが学連幹部であっても、準備段階ではメールやLINEでのやり取りのみで、リモート会議で初めて顔合わせする4年生もいた、そして一度も直接会うことなく卒業して行くものもいた。

この3年のそういった環境の影響からか、他支部の大学との関係で、どこかよそよそしさを感じたのが、最終日の違和感だったかもしれない。

2020年度は学連の登録加盟数が前年度卒業した4年生に対し、新入部員の数少なく、200名以上減少し、加盟団体の大学数も減少するという、これまでに経験の無い状況となり、大きな危機感を抱いた。

蔓延防止処置や緊急事態宣言下では、各大学の活動自粛指示や、県をまたいでの移動制限が有り、大会を開催することさえできない事態に追い込まれ、結果として学連登録をしないという大学まで現れるという事態となってしまった。

また開催できたとしても、日程変更などの対策を講じなければならず、選手のみならず、学連委員のとっても大きな負担増を強いる結果となった。

2021年度は、各大学が危機感を持って部員獲得に力を入れてもらった結果、V字回復を果たすことができたが、まだコロナ前の水準には届かなかった。その要因としては、部員の減少で、銃砲店に預けている部が管理している銃の維持費がまかなえず、処分しなければならなくなり、結果として新入部員が増えても、銃の割り当てができず、新銃を買わなければならなくなり、断念する学生も出てしまった。

コロナだけが、射撃離れの原因ではなく、コロナによって射撃界が抱える問題が浮き彫りになった形だった。



2022年2月、学連は新たに一般社団法人として生まれ変わり、スタートを切った。発端はUNIVAS（大学スポーツ協会）への加盟をするためであったが、減り続ける登録者数への対応、スポーツを取り巻く環境の変化への対応（※）を目的としたもので、射撃を愛好する大学生が今後も継続して取り組める環境を継続できるよう、環境整備は不可欠な状況だった。

しかし、コロナによって大会運営や事業がまともに行うことができず、経験を積み上げることができなかった学生たちにとって、法人化に伴う一部のルール変更でさえ、大きな負担となってしまった。

学連組織は毎年入れ替わるため、コミュニケーションが重要であり、先輩からの引継ぎによって脈々と続けられてきたが、それらが円滑に行かず、本来それを補うために法人化し、社会人が関与してサポートしなければならないが、そちらの意識改革も道半ばで、学生への負担増となってしまった。

3年ぶりに開催されたインカレは、経験もなく不安な状態で臨んだが、大きな事故もなく、予定通り4日間の日程をやり遂げることができた。それは今年の学連委員の活躍はもちろんのこと、厳しい環境で過去2年間を全うしてきた先輩学連委員がいたからこそであり、今回の結果をそんな関係者へ感謝の気持ちと共に伝えたい。

まだまだ今の状況がすぐに好転することはない、おそらく昔のやり方に完全に戻ることはないだろう。インカレ最終日で感じた違和感は過去に囚われているからであり、これからは、変化し続けることで、学生射撃の伝統が発展的に成長していくことを目指したい。

一般社団法人 日本学生射撃スポーツ連盟

関西支部 支部長 成山悟史



ライフルスポーツへの 記録掲載終了のお知らせ



いつもライフルスポーツをご購読頂きありがとうございます。

グレードG2以上の協会主催大会成績を掲載しておりました記録集は、2022年5月号をもって終了させて頂きました。

協会主催大会の成績は、日本ライフル射撃協会公式HPの大会情報にて掲載しておりますので、今後はそちらをご確認下さい。どうぞよろしくお願い申し上げます。

販売設置は日本全国へ

■ Meyton(マイトン)電子標的システム



Meyton電子標的の特徴：

- ・赤外線バリヤを通過した位置を測定
- ・センターは常に一定
- ・測定精度は1/100mm
- ・ワークステーションによる一元管理
- ・1台から利用可能
- ・10m, 50m競技用（25mは別製品）
- ・測定用消耗品は不要

Meyton(マイトン)電子標的導入射撃場（順不同）：

新潟県立胎内ライフル射撃場(10, 50m) 茨城県菅ライフル射撃場(10, 50m) 福井県立ライフル射撃場(10, 50m) 長野県中尾山射撃場(10, 50m)
 神奈川県立伊勢原ライフル射撃場(10, 50m) くりはま花の国エアライフル場(10m) 宮城県ライフル射撃場(10, 50m) 沖縄県ライフル射撃場
 (10m, 50m) 荒川区総合スポーツセンター(10m) 慶應義塾大学(50m) 中央大学(50m) 日本大学(10m, 50m) 明治大学(10m)
 その他高校・大学多数導入 ※大阪府能勢町ライフル射撃場(10m, 50m) メンテナンスのみ (國友銃砲火薬店様導入)

有限会社 三和管財

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田1326 TEL: 04-7143-6122 Fax: 04-7147-0745

Meyton社製品 日本ディストリビューター / Noptel社製品 輸入総代理店

10.9 FOCUSED.
TARGETED.
EXACTLY.

WALTHER

LG400
MONOTEC



KK500
PRECISION IN A NEW DIMENSION

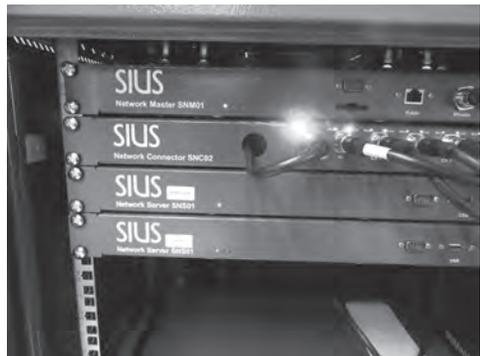
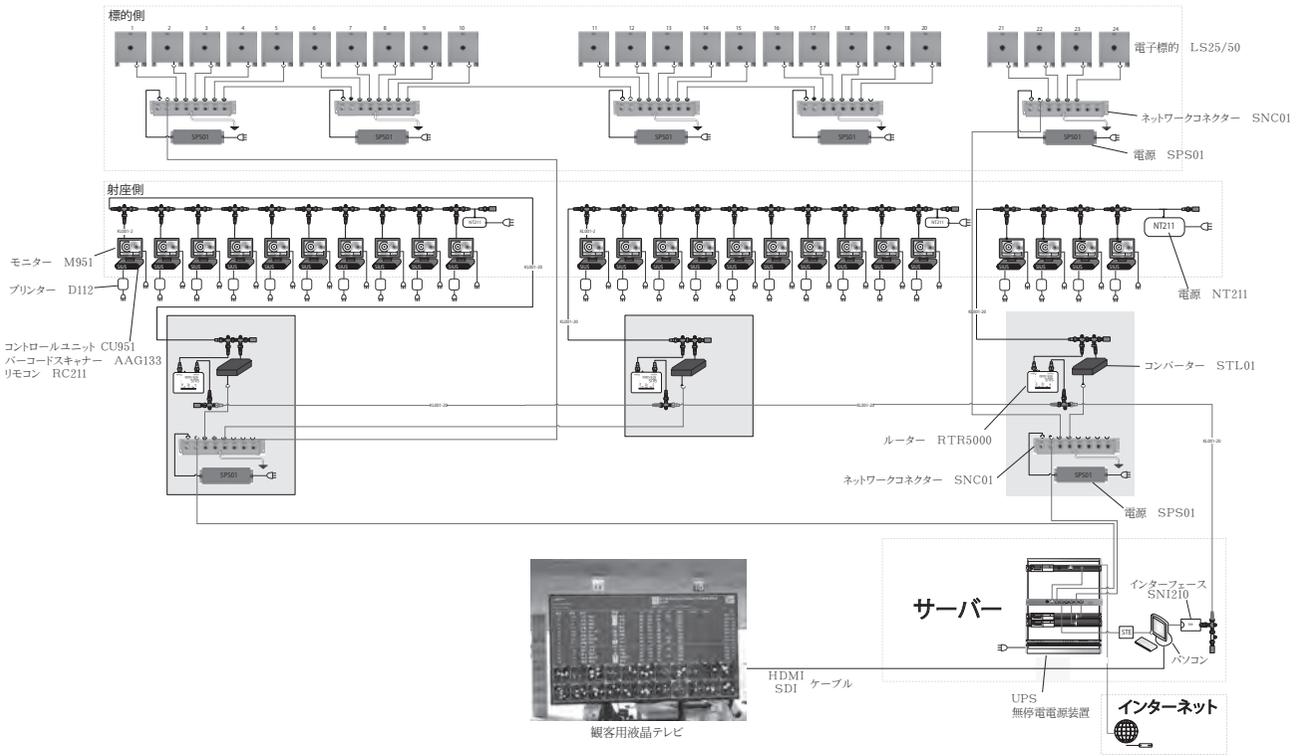
POWERED PERFORMANCE.



(公社) 日本ライフル射撃協会オフィシャルサプライヤー
株式会社 **國友銃砲火薬店**
〒600-8032 京都市下京区寺町通仏光寺東入る 國友ビル 3F

ワルサー社・エレー社 日本代理店
TEL(075)351-3037 FAX (075)351-3041
<http://www.kunitomogs.co.jp> E-mail:shooting@zj8.so-net.ne.jp

STYX ネットワークシステム



ISSF公認 (Phase III・最高評価の公認)

光学式電子標的・超音波式電子標的

SIUS 社 日本総代理店

日本ビーム株式会社

www.japanbeam.com



ビームライフルで射撃スポーツを始めましょう!

BEAM·RIFLE SHOOTING SYSTEM

ビーム・ライフルの特徴

- ビーム・ライフル/ピストルの光源はキセノン管発光で、人体には影響のない安全な光です。
- 標的装置の設置は水銀灯、白熱灯、蛍光灯などを使用する体育館や教室で利用できます。



ビームライフル ジュニア用 型式 MBR-203J

この銃は 3.0 kg と軽量で、全長も小中学生などに合わせた入門者向けのモデルです。バットプレートは体格に合わせて、前後に調整できます。専用バッテリー、サイトセット、ハードケースが付属します。



ビーム・ライフル 型式 MBR-201

この銃はチークピースの調整を容易にした、バランスー付の競技者向けのモデルです。

ビームライフル・システム



ターゲット装置
型式 MT-201



ディスプレイ装置
型式 MD-201L



プリンター装置
型式 MP-216

〔 製造・発売元 〕

—KOTO— 興東電子株式会社

本社 〒306-0232 茨城県古河市東牛谷 603-2

電話 0280-98-3387 FAX 0280-98-1180

<http://www.kohto.co.jp> E-mail: info@kohto.co.jp



GINZA GUN LTD.

VEGA

シューティングジャケット & パンツ

〔VEGA〕というメーカーをご存じですか？
韓国のオーダーメイド射撃コートブランドです！
オーダーメイドでありながら、リーズナブル!!
射撃コートの購入を検討しているあなたのあなた!! 必見です!!

- ・ 第52回 ISSF世界選手権でVEGAを着用したジュニア選手が**金メダル**を獲得!!
- ・ キャンパス7色、レザー9色、パイピング10色
豊富な色から自分仕様にカスタマイズ!!

メインにキャンパス生地
を使用!!



肘をつけるサイドパネル
にはラバー素材を使用!!

商品に関するお問い合わせは、お電話・メール、または弊社公式LINEまで!!

株式会社銀座銃砲店

〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目
13番7号(新保ビル2階)

TEL:03(6226)6133 FAX:03(3543)1444

Mail:info@ginzagun.com



友達追加はこちら!!



公式SNSで
お得な情報発信中!!

右記QRコードよりチェック!!



facebook



Instagram



TWITTER



ホームページより
カタログをダウンロード
できます。



来たとき よりも キレイに!

世界に示す、クリーンジャパン

KEEP EVERYTHING
MORE BEAUTIFUL
THAN IT WAS.

Show the world, CLEAN JAPAN!



公益財団法人 日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee

ライフルスポーツ 購入申込方法

◆お申し込みは郵便振替または現金書留で下記の宛先までお願いします。

⇒郵便振替の場合

郵便振替 00140 - 0 - 707998 公益社団法人日本ライフル射撃協会

⇒現金書留の場合

〒160 - 0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4 - 2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 公益社団法人日本ライフル射撃協会ライスポ担当

◆価格（送料込み）

⇒一部300円、年間1,800円 学生・生徒一部200円、年間1,200円

◆会員への配布

⇒会員については、会費に含まれていますので、自動配布となります。ただし、大学生及び中高生会員への配布は、当協会の規程によります。

⇒会員のご登録住所にお届けしております。ライフルスポーツがお手元に届かない場合は、所属加盟団体へ登録住所のご確認をお願い致します。

原稿募集します

□活動状況など

⇒各加盟団体や学校やクラブなど活動の様子を紹介します。

□エピソードなど

⇒射撃にまつわるおもしろいエピソードなど大歓迎します。



□協会に対する意見、質問など

⇒会員からの協会に対する直接の意見や質問をお寄せ下さい。なるべく建設的な意見を。

□投稿規定

⇒A-4に横書き（2段組み、各21文字）でお願いします。データも付けていただくとライスポ掲載に便利です。

※現在紙面の都合で掲載できずにお預かりしている原稿が多数あります。投稿される際は事前にご相談ください。

●発行人 ————— 松丸 喜一郎

●編集 ————— 総務委員会

●発行所 ————— 公益社団法人日本ライフル射撃協会
(2019年7月より 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
新住所) 電話 03 - 6721 - 0792 / FAX 03 - 6721 - 0793
E-mail : rifle @ japan - sports.or.jp
http://www.riflesports.jp/

●印刷所 ————— 広研印刷株式会社
〒171 - 0033 東京都豊島区高田 3 - 3 - 16
電話 03 - 3208 - 8273 / FAX 03 - 3208 - 8244

本誌は、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。



#ともに 越えよう

休んでたわけじゃない
不安や孤独と戦いながら 高めていたんだ
闘志を 自分自身を

私たちの 想いは 情熱は
湧き立ち みなぎり 駆り立てる
前へ 前へ 前へ

できる やれるよ 私たちなら想いをひとつに
その先へ行く力 「ダイバーシティーコンセプト」

さあ スポーツが待ってる

REACH BEYOND





ライフルスポーツ THE RIFLE SPORTS 2022.6

第457号

令和四年十一月一日発行 隔月(奇数月)一日発行
昭和五十三年二月二十五日第三種郵便物認可

発行人・松丸喜一郎
発行所・公益社団法人日本ライフル射撃協会

東京都新宿区霞ヶ丘町4-1-2

24時間365日、守り続ける。
いつでもすぐに駆けつける。
「安全・安心」に、
住まいと家族を見守る一番強い存在に、
私達はなりたい。

それがALSOKの
変わらぬ想いです。



© 円谷プロ

ホームセキュリティで幸せを



ALSOK レスリング部
コーチ兼選手
伊調 馨



24時間
365日受付



0120-39-2413

サンキュー

ツヨイ

ミカタ

ALSOKは映画『シン・ウルトラマン』を
応援しています。

定価 300 円